



交付運用報告書

日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)
円ヘッジありコース/円ヘッジなしコース
<愛称> ジェイブリッド年1



追加型投信/海外/その他資産 (ハイブリッド証券)

作成対象期間：2021年6月15日～2022年6月14日

第6期 決算日：2022年6月14日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建てのハイブリッド証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第6期末 2022.6.14

	円ヘッジありコース	円ヘッジなしコース
基準価額	9,994円	14,333円
純資産総額	576百万円	442百万円
騰落率*	△11.9%	7.5%
期中分配金合計	0円	0円

* 騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書(全体版)の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

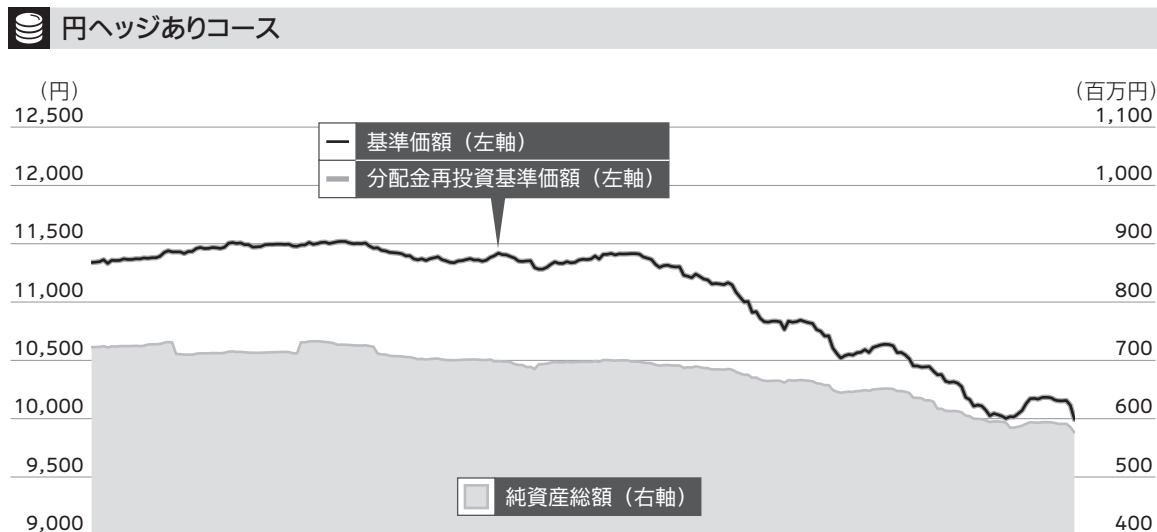
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

第5期末
2021.6.14

第6期末
2022.6.14

第6期首

騰落率

第6期末

基準価額
11,339円

△11.9%
(分配金再投資)
基準価額ベース

基準価額
9,994円
(期中分配金
合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2021年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

マザーファンドが保有する日本金融ハイブリッド証券の所有期間利回りがマイナスとなったことから、当ファンドの基準価額は下落しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でした。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

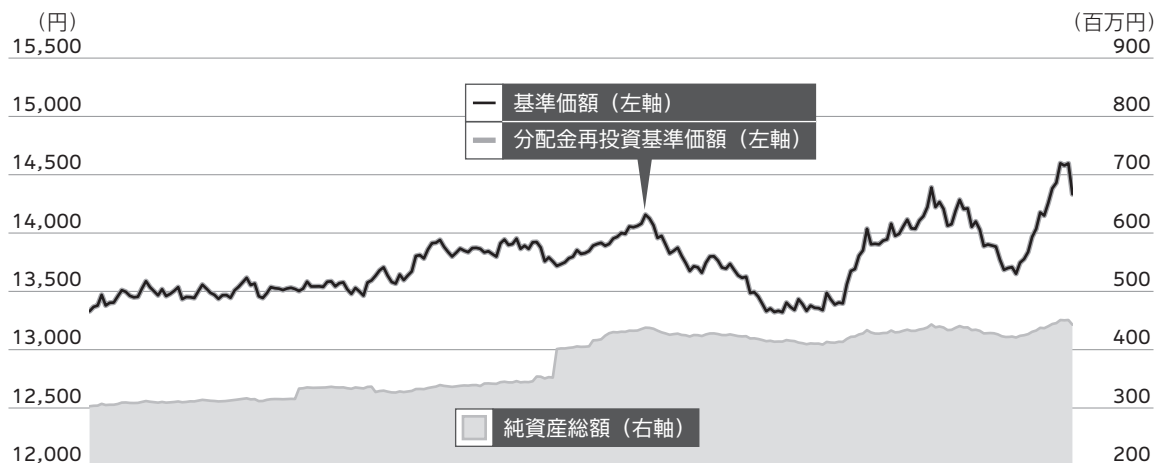
期中の騰落率は+8.5%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、基準となる米国債利回りが上昇（価格は下落）し、対国債スプレッドが拡大したことから、利回りは上昇しました。一方で、為替が米ドル高円安に推移したことから、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

円ヘッジなしコース



第5期末
2021.6.14

第6期末
2022.6.14

第6期首

騰落率

第6期末

基準価額
13,330円

7.5%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
14,333円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2021年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は+8.5%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、基準となる米国債利回りが上昇（価格は下落）し、対国債スプレッドが拡大したことから、利回りは上昇しました。一方で、為替が米ドル高円安に推移したことから、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

円ヘッジありコース

項目	第6期 2021.6.15~2022.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	102円	0.924%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,080円です。
(投信会社)	(49)	(0.440)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(49)	(0.440)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.027	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.012)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	105	0.951	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

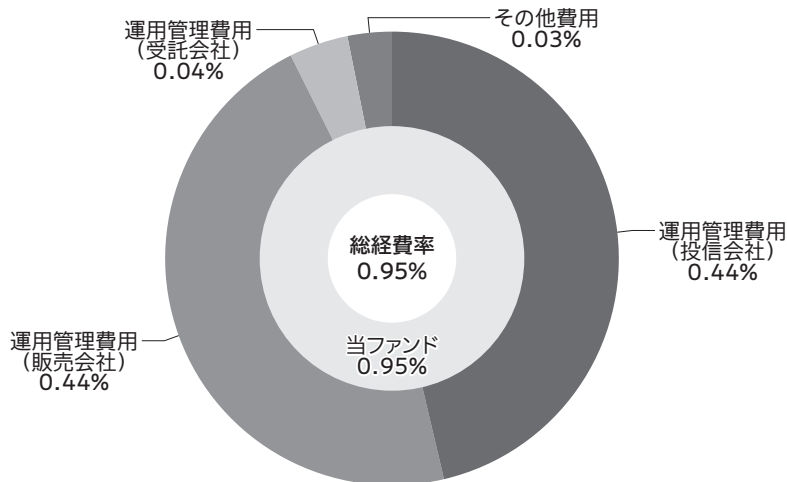
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジなしコース

項目	第6期 2021.6.15~2022.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	127円	0.924%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,756円です。
(投信会社)	(61)	(0.440)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(61)	(0.440)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(6)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.027	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.012)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	131	0.951	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

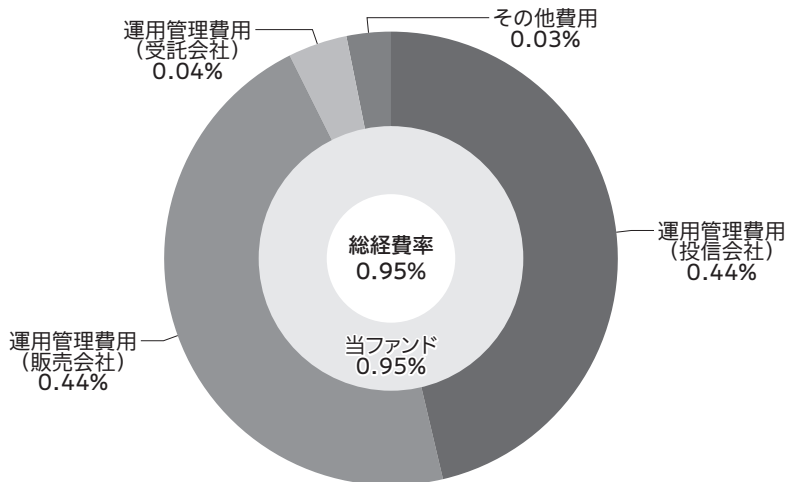
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

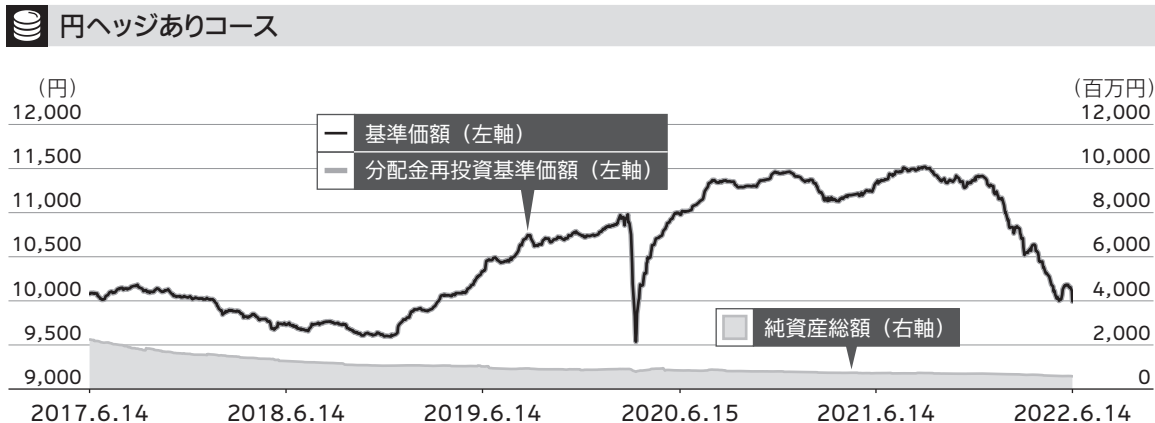
注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

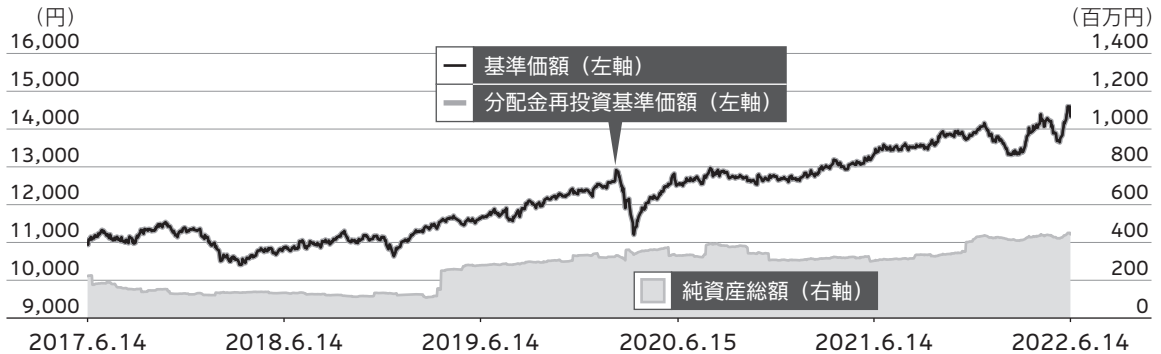
2017.6.14～2022.6.14



- 分配金再投資基準価額の推移は、2017年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2017.6.14 決算日	2018.6.14 決算日	2019.6.14 決算日	2020.6.15 決算日	2021.6.14 決算日	2022.6.14 決算日
基準価額 (円)	10,079	9,729	10,330	10,978	11,339	9,994
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.5	6.2	6.3	3.3	△ 11.9
純資産総額 (百万円)	2,245	1,271	1,027	841	722	576

2017.6.14~2022.6.14


 円ヘッジなしコース


- 分配金再投資基準価額の推移は、2017年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2017.6.14 決算日	2018.6.14 決算日	2019.6.14 決算日	2020.6.15 決算日	2021.6.14 決算日	2022.6.14 決算日
基準価額 (円)	10,970	10,844	11,636	12,544	13,330	14,333
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.1	7.3	7.8	6.3	7.5
純資産総額 (百万円)	222	133	279	330	302	442

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

米国債券利回りは、期初から2021年末にかけて概ね横ばいで推移しました。2022年からは、インフレ上昇を背景としたFRB（米連邦準備理事会）による金融引き締め観測が高まる中、米国債券利回りは上昇傾向で推移しました。ウクライナ情勢の緊迫化を受けて市場のリスクセンチメントが悪化し、2月末から3月初旬にかけて、一時的に利回りが低下（価格は上昇）する局面もありましたが、その後は、商品価格の高騰によるインフレ懸念などから米国債券利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

ドイツ債券利回りは、期初から2021年末にかけて概ね横ばいで推移しました。2022年からは、米国債券利回りの上昇や、ECB（欧州中央銀行）による金融引き締め観測などを受けて、ドイツ債券利回りは上昇しました。6月には、ECBが7月に利上げを実施する方針およびその後の積極的な利上げ姿勢を示したことから、ドイツ債券利回りは上昇幅を拡大しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

2021年末にかけて、新型コロナウイルスの変異株への懸念が高まった一方、BOE（イングランド銀行）による金融引き締め観測が強まる中、英国債券利回りは、上下しながらも上昇基調で推移しました。その後は、米欧の債券利回りの上昇などを受けて、英国債券利回りは上昇しました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは、2022年1月にかけては縮小基調となったものの、その後は、ウクライナ情勢緊迫化を受けたリスクセンチメントの悪化や、FRBによる金融引き締め観測の高まりなどを背景に、拡大基調で推移しました。加えて、基準となる米国債利回りは上昇したことから、同証券の利回りは上昇しました。なお、同証券の各発行体のファンダメンタルズは、健全性を維持しています。

○為替市場

米ドル円は米ドル高円安となりました。

米ドル円は当初横ばいで推移したものの、FRBによる金融政策の早期正常化観測などを背景に、2021年9月下旬から10月中旬にかけて上昇しました。その後、2022年2月にかけて、米ドル円は横ばいで推移したものの、FRBによる金融引き締め観測および日銀の異次元緩和が維持されるとの見方などを背景に日米金利差が拡大する中、期末にかけて米ドル高円安が進行しました。

為替レートの推移



(出所：Bloomberg)

注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

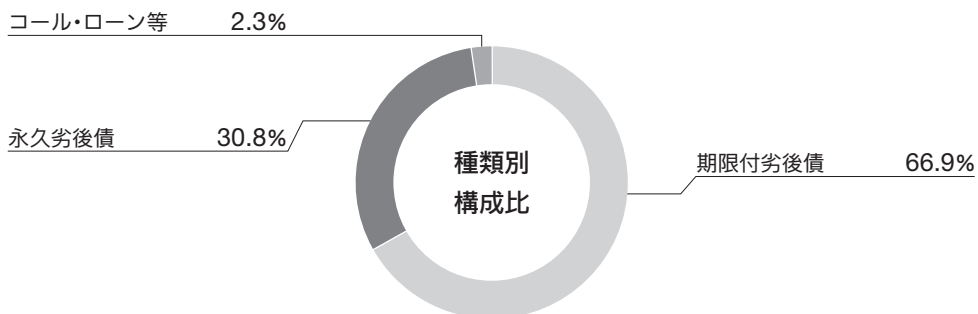
📊 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジを行っています。

🏠 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは9銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

第6期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1. 比率は、第6期末における純資産に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とまらない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

📊 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第6期 2021.6.15~2022.6.14
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,050

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

円ヘッジなしコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第6期 2021.6.15~2022.6.14
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,332

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

円ヘッジありコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの上を目指します。また、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジについても継続します。



円ヘッジなしコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの上を目指します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

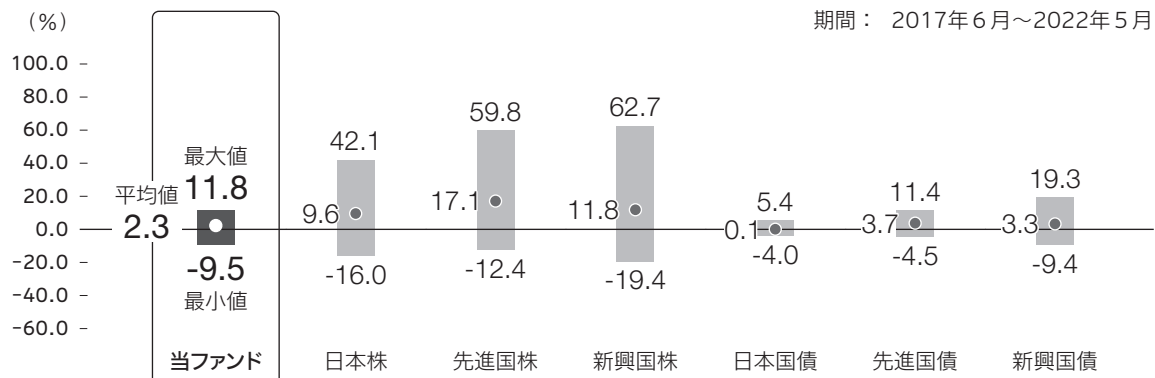
投資環境の変化を引き続き注視しながら、現在のポートフォリオ特性を今後も原則維持する方針です。また適宜利回りの高い債券への入替えを行い、トータルリターンの上を図る方針です。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2016年6月30日から2028年6月14日まで
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	<p> 日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型） 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド受益証券</p> <p> 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド 日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券</p>
運用方法	<p>① 日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。</p> <p>② 「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

円ヘッジありコース



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

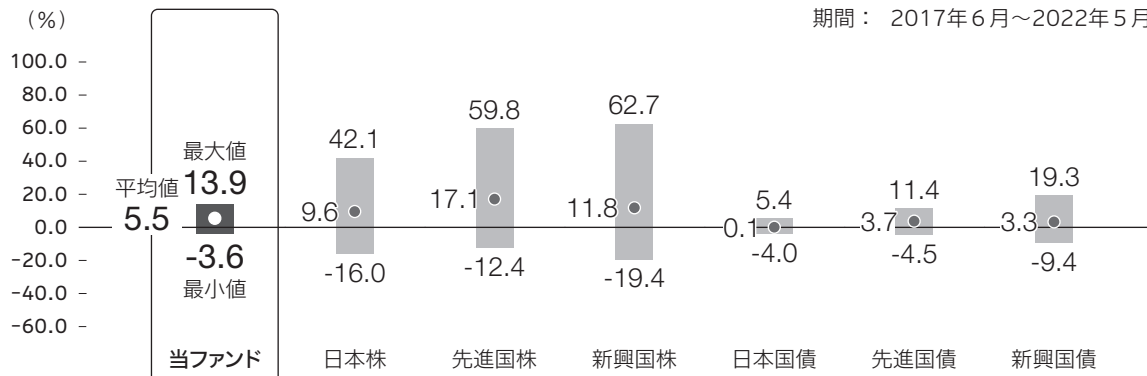
※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は24ページをご参照ください。

円ヘッジなしコース

期間： 2017年6月～2022年5月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は24ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

円ヘッジありコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

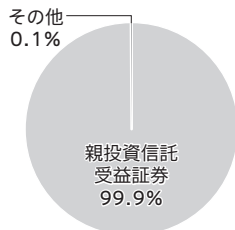
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第6期末 2022.6.14
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	99.9%

注. 比率は第6期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第6期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第6期末 2022.6.14
純資産総額	576,132,748円
受益権総口数	576,503,472口
1万口当たり基準価額	9,994円

※ 当期中における追加設定元本額は41,416,303円、同解約元本額は102,250,099円です。

当該投資信託の組入資産の内容／純資産等

円ヘッジなしコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

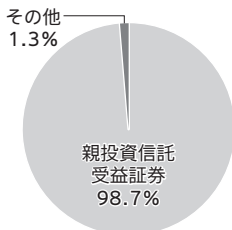
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第6期末 2022.6.14
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	98.7%

注. 比率は第6期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第6期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第6期末 2022.6.14
純資産総額	442,814,194円
受益権総口数	308,949,497口
1万口当たり基準価額	14,333円

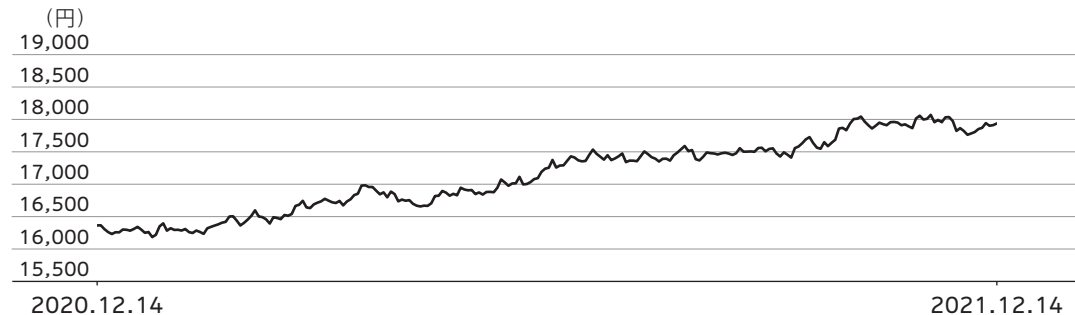
※ 当期中における追加設定元本額は107,196,193円、同解約元本額は25,533,619円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

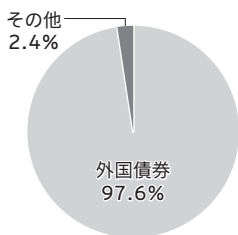
項目	2020.12.15~2021.12.14	
	金額	比率
その他費用	2円	0.011%
(保管費用)	(2)	(0.011)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.011

期中の平均基準価額は17,136円です。

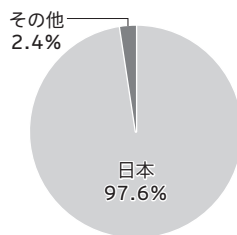
組入上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	NIPPON LIFE 2.75 310121	社債券	アメリカ・ドル	日本	28.2%
2	DAI-ICHI 4.0 260724	社債券	アメリカ・ドル	日本	21.3%
3	MSINS 4.95 290306	社債券	アメリカ・ドル	日本	15.8%
4	SUMITOMO LI 3.375 310415	社債券	アメリカ・ドル	日本	10.4%
5	MEIJIASUDA 5.2 251020	社債券	アメリカ・ドル	日本	7.8%
6	SUMITOMO MI 2.142 300923	社債券	アメリカ・ドル	日本	6.1%
7	SUMITOMO MI 3.202 290917	社債券	アメリカ・ドル	日本	5.3%
8	SUMITOMO LIFE 4.0 270914	社債券	アメリカ・ドル	日本	2.7%
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			8銘柄		

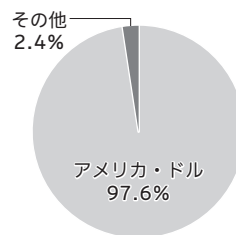
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2021年12月14日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型） コース 検索

それぞれのコースをご入力下さい。

円ヘッジあり

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0972/price.html>

円ヘッジなし

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0973/price.html>

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 （申込不可日）

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。